

ホームページより寄附していただけるようになりました

2018年3月7日、公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団のホームページをリニューアルいたしました。

当財団事業の紹介とともに、今後様々な事業活動の充実と展開を図るため寄附ページを新たに作成いたしました。法人および団体の方からの寄附をはじめ、個人の方からはクレジットカードでの寄附をお受けできるようになりました。

当財団は「公益財団法人」としての認定を受けていますので、当財団への寄附金には特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用されます。法人・団体の方からの寄附については、特定公益増進法人への寄附に適用される一般損金算入とは別枠の特別損金算入が可能となります。また、個人の方からの寄附については所得税の控除が受けられます。

私どもは一人でも多くの方々に彫刻芸術に接していただくことでその魅力を知っていただき、楽しんでいただけることができるように努めてまいります。皆様のご支援を賜りますよう、お願いいたします。

公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団ホームページ

<http://www.hakone-oamfoundation.jp>



彫刻の森美術館



美ヶ原高原美術館

公益財団法人
彫刻の森芸術文化財団
CHOKOKU-NO-MORI ART FOUNDATION

日本語 | English

財団について 寄附を募集しています

財団の概要

設立趣旨

定款

役員名簿

事業の紹介

お問い合わせ

公益財団法人彫刻の森芸術文化財団について

当財団は、「ひろく一般に彫刻芸術に接する機会を提供するとともに、彫刻芸術の振興普及をはかり、わが国芸術文化の向上発展に寄与すること」を目的に掲げ、昭和43（1968）年9月6日、財団法人彫刻の森美術館として発足いたしました。そして、彫刻の森美術館の開設における建設資金協賛社は国内企業173社および、翌昭和44（1969）年8月1日、日本で初めての彫刻専門の野外美術館として開館いたしました。

財団の設立はフジテレビジョン、産経新聞社、ニッポン放送を中核とするフジサンケイグループによるもので、初代館長を務めた故栗内信隆（1911-1990）は、開館の挨拶で、

「近代彫刻の優品が、多彩を誇る現代彫刻の数々が、箱根の山に集い、自然の美しさ猛々しさと溶け合い、対決するわけです。皆様方も箱根の風光を満喫しながら、彫刻と自然との対話に加わっていただきたいのです。そこにこそ、新しい造形の時代の、野外美術館でしか味わえぬ美しさがあると申せましょう。

...ゆくゆくは東西の彫刻界の架け橋、世界の彫刻家の理想郷に育てていきたいと存じます。...」

と述べています。

その後、昭和56（1981）年に長野県上田市に姉妹館・美ヶ原高原美術館を開設。作品収蔵では内外の近代彫刻の名品群に、英国が誇る彫刻家、ヘンリー・ムーアの作品や20世紀最大の芸術家、パブロ・ピカソのコレクションなどを加える一方、公募展や企画展を通じて作品収集を図ってまいりました。今後も美術館の維持運営をはじめとした後述する様々な業務を行って、当財団の目的を果たしていきたいと思ひます。

なお、平成24（2012）年4月1日、内閣総理大臣より認定を受けて公益財団法人に移行して現在に至っています。

財団の概要

名称	公益財団法人彫刻の森芸術文化財団		
法人設立の年月日	昭和43年9月6日	財団法人彫刻の森美術館 設立	
	平成24年4月1日	公益財団法人彫刻の森芸術文化財団 認定移行	
美術館（事業所）	彫刻の森美術館	神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121	
		tel：0460-82-1161	
	美ヶ原高原美術館	長野県上田市武石上本入美ヶ原高原	
		tel：0268-86-2331	
	東京事務所	東京都江東区青海1-1-20 ギャラリー東京7（3F）4階	
		tel：03-5500-5930	

【財団活動紹介】 ページ

- ・ 財団の概要
- ・ 設立趣旨
- ・ 定款
- ・ 役員名簿
- ・ 業務の紹介
 - 美術館の運営
 - 展覧会
 - 所蔵作品貸出
 - 所蔵作品の保存修復
 - 教育普及・催事
 - 図録等の刊行
 - 表彰事業
 - 環境芸術
 - 美術作品管理
 - 美術展等物販関連

- ・ お問い合わせ
- ・ よくあるご質問

【寄附のお願い】 ページ

- ・ 寄附の使途
 - 美術館の運営
 - 展覧会
 - 所蔵作品の保存修復
 - 教育普及・催事
 - 財団の活動全体への寄附
- ・ 寄附のお申し込み
 - 個人の方の寄附
 - 法人・団体の方の寄附
- ・ 税制の特典
- ・ お問い合わせ
- ・ よくあるご質問

公益財団法人
彫刻の森芸術文化財団
CHOKOKU-NO-MORI ART FOUNDATION

日本語 | English

財団について 寄附を募集しています

寄附の使途

寄附のお申し込み

税制の特典

お問い合わせ

寄附のお願い

当財団の事業運営に必要な資金は主に美術館の入場料収入を充当していますが、今後さらなる事業活動の充実と展開を図るためには、寄附金が必要です。

私どもは一人でも多くの方々に彫刻芸術に接していただくことでその魅力を知っていただき、楽しんでいただけることができるように努めてまいります。

皆様のご支援を賜りますよう、お願いいたします。

なお、当財団は「公益財団法人」としての認定を受けていますので、当財団への寄附金には特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用されます。

個人の方からの寄附については所得税の控除が受けられます。また、法人・団体の方からの寄附については、特定公益増進法人への寄附に適用される一般損金算入とは別枠の特別損金算入が可能となります。

税制特典を受けるための方法と手続きは下記をご参照ください。

寄附の使途

美術館の運営



野外美術館を演出する芝生や樹木、色鮮やかな季節の草花、展示作品のメンテナンスなど魅力ある景観を管理するためには多くの方のご協力が欠かせません。自然と調和した彫刻たちが織りなす風景を維持するために活用いたします。

展覧会



「横尾忠則 迷画感応術」（2016）、「森山紀信 写真展 KISHIN meets ART」（2016）、「鈴木康広 始まりの庭」（2017～2018）、身体を使って彫刻を感じる常設企画展「彫刻の森研究所」（2015～）など、年数回の企画展覧会を実施しています。

写真：「彫刻の森研究所」（2015～）